

# CASA新聞



## リーグ戦2-2引き分け 公式戦3試合連続勝ち星なし

平成28年6月5日、河内総合多目的広場において、県リーグ第5節ASCASA A対ホンダ栃木の試合が行われた。

前節、真岡21に悔しくも、逆転負けをしており、より気持ちの入った試合になることが予想された。だが前半開始15分、パスミスからカウンターを受けてしまい、簡単に失点をしてしまった。

失点してからも相手の攻撃は止まらず、自分たちのペースをつかむことが出来ず、

これ勢いに乗った。ASCASAだが、後半25分にDFとキーパーの連携ミスで失点してしまった。

再び厳しい状況におかれたASCASAだが、後半35分に途中出場のFW17番沼尾が右サイドをドリブルで突破し、FW10番手塚にパス。

そのままシュートを打ちゴールを決めた。同点に追いつくもその後は、チャンスを決めれず試合終了。今回の結果でASCASAはリーグ戦3位になった。

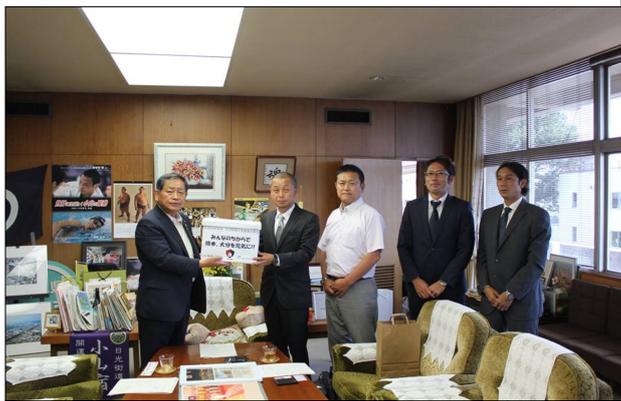
### 小山市長に活動報告

6月9日に熊本地震復興チャリティーマッチで集まった募金を小山市を通じて、熊本に届けることになりました。

小山市のスポーツを盛り上げて行く中で、小山市からJリーグチームを目指す事を市長にアピールしてきました。

今後小山市と協力をし、地域の人知ってもらい、小山市のPRをしていきたいと思っています。

26日の小山市向野運動公園で行うホームゲームでは市長の観戦も決まっています。



## ハーヴェストで26日の広告活動

6月26日に県リーグ第6節ジュラール戦が小山向野運動公園陸上競技場で行われます。

今回もハーヴェストさんに協力をしていただき、11、18

日に広告活動をさせていただきます。多くの人に会場まで足を運んでもらえるように選手自らが広告活動を行います。地域に少しでも貢献できるように試

合だけでなく地域活動に参加し、地域に愛されるチームにしていきたいと思っています。



## ホーム戦1-0完封勝利

### 市長パワーで勝ち点3獲得

6月26日栃木県サッカーリーグ第6節の試合が小山市向野運動公園で行われた。

前回のホームゲームでは、1-0からの逆転負けという、悔しい結果となった。そのため今回はよき試合の入りたを感じた。また、今回の試合では小山市長の大久保寿夫市長に観戦して頂き、



試合会場を盛り上げて頂いた。試合は

前半ジュラールに攻め込まれ苦しい試合展開になったが、35番GK平井健太郎が好セーブを連発して、ピンチをしのいだ。

前半開始10分はペースをつかめず、チャンスを決められなかったが、ジュラールが攻め手を欠いたとき、CASAの攻撃が始まった。

CASAの右サイドバック6番山内勇輝が果敢に攻撃参加をして、流れを変えた。



前半20分には山内が上げたセンタリングをMF9番野口拓也が胸トラップし、シュートをするが、相手のゴールキーパーの好セーブにあり得点には繋がらなかった。

前半40分にMF15番岸田茂樹のパスにFW10番手塚康友がドリブルで相手DFをかわしシュートを打ちゴールを右隅に決めた。

後半に入ってもCASAの攻撃は止まらなかった。

中盤でダイレクトパスが3本続き、最後は15番岸田がシュートを打つが、オフサイドの判定で得点にはならなかった。

後半終了間際に相手にチャンスを作られたが、選手全員が集中して気持ちの入った守備で失点せず試合は終了した。

この試合に勝ったことで、順位が変わりCASAが勝ち点11で2位、順位を1つ上げた。

試合の後には無料サッカースクールを行ない多くのサッカー少年、少女にサッカーの楽しさを伝えることができたと思う。

ASCASAは小山市からJリーガー日本代表を排出させるため今後もサッカースクールを実践して行きたいと思っている。